

令和4年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・自分の考えをもち、他者との交流をしながら自分の考えを深める学習活動を授業で行い、以前よりも自分の考えを明確に伝えられるようになってきた。
- ・作文指導を継続することで、指定された長さや条件で書くという意識ができてきた。

(2) 課題

- ・タブレット等のICTを効果的に用いた授業展開を工夫し、生徒の主体性を高める。
- ・言語（文法・語句）事項に関して正答率が低いため、日々の授業の中で繰り返し指導を行い、読むことや書くことにおいて適切に活用できる力を定着させる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	目標値に対して、基礎、活用ともに上回っている。 「我が国の言語文化に関する事項」において目標値を下回っている。	/	/
第2学年	目標値に対して、基礎、活用ともに上回っている。「漢字を書く」「文学的な文章の内容を読み取る」において目標値を下回っている。	「話の内容を聞き取る」において目標値を下回っていた。 (第1学年時)	/
第3学年	目標値に対して、基礎、活用ともに下回っている。	目標値に対し、「漢字を書く」「新聞記事を書く」において下回っていた。 「話し合いの内容を聞き取る」「漢字を読む」「文法・語句に関する知識」「説明文の内容を読み取る」「文学作品の内容を読み取る」「作文」において上回っている。 (第2学年時)	目標値に対し、「話の内容を聞き取る」「漢字を書く」において下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。ただし、「文法・語句に関する事項」のことわざや文法については目標値を下回っている。	目標値を大きく上回っている。ただし、「話すこと・聞くこと」の活用において、目標値を下回っている。	目標値を大きく上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。ただし「漢字を書く」において小学校で学習した漢字については目標値を下回っている。	目標値を上回っている。ただし「文学的な文章の内容を読み取る」の場面と描写を結び付けて内容を解釈することについては目標値をやや下回っている。	目標値を大きく上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。ただし、「漢字を読む」「漢字を書く」については、区の平均と同等であった。	目標値を下回っている。特に、グラフから読み取った内容を明確に書く力が身に付いていない。	目標値を下回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文法に関する学習や語句（ことわざ）に関する学習を授業の中で多く取り入れ、また定期的に振り返りを行うことで定着を図る。	相手の意図を意識させ、話の要点を押さえることについて指導し、「話す・聞く」の活動を強化していく。	・作文や記述の指導を定期的に行い力を養っていくことで、苦手意識の軽減を図る。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書く活動の際に習った漢字を用いて書くことを徹底するとともに、漢字テストでは小学校で習う漢字も扱うことで定着を図る。	個々の場面や描写から直接分かることを把握する力を付ける指導をし、複数の場面や描写と結び付けて解釈する力につなげる。	一人一台端末を活用し、書くことへの苦手意識を軽減することで、作文等の書く活動を活性化させる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きや文法・語句に関する学習は、タブレットのドリル等も活用し、定期的に理解度を確認し、定着を図る。	説明的な文章から情報と情報との関係について理解させ、グラフから正確に情報を読み取った内容を基に自分の考えを書く活動を強化する。	文章を読んで理解したことを知識や経験と結び付けて自分の考えを深め、自分の言葉で伝える学習活動を行う。